

各位

インフォコム株式会社
東京都千代田区神田駿河台3-11
(JASDAQコード番号:4348)

インフォコム株式会社 2006年3月期中間決算の概要

本日付、当社連結および個別中間期決算短信を発表いたしましたので、その概要をご案内申し上げます。なお、2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売にかかわる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。当資料における前期売上高の数値については、比較を容易にするため当期の計上基準により計算した数値で表示しています。

1. 2006年3月期中間決算概要

2006年3月期中間期の連結売上高は13,623百万円(前期12,870百万円)、連結営業損失は168百万円(前期連結営業利益79百万円)、連結経常損失は131百万円(前期連結経常利益123百万円)となりました。また、特別損益については、退職年金制度改革における厚生年金基金の代行返上に伴う特別利益225百万円、NSC社の営業方針の転換に伴う措置として特別損失260百万円を計上し、当期純損失188百万円(前期純損失176百万円)となりました。

【ソリューション・セグメント】

連結売上高7,481百万円(前期7,009百万円)、連結営業損失247百万円(前期連結営業利益163百万円)となりました。

売上高、営業利益ともに期初見通しに対して下回りましたが、前期との比較では、新規連結子会社(イメージパートナー社、コンピュータシティ社)の売上高が寄与し連結売上高は増収となりました。一方、インフォバック社が展開する「GRANDIT」事業において、前期に計上したコンソーシアム加入料が当期においては生じないため、連結営業利益は減益となりました。

【サービス・セグメント】

連結売上高5,230百万円(前期5,002百万円)、連結営業利益249百万円(前期連結営業利益317百万円)となりました。

売上高は概ね期初見通しを維持したものの、NSC社の収益力改善の遅れが影響を与えて営業利益は期初見通しを下回りました。前期との比較では、携帯電話着信メロディの低迷を受けて若干の増収減益となりました。

【フロンティア・セグメント】

連結売上高911百万円(前期858百万円)、連結営業損失168百万円(前期連結営業損失403百万円)となり、連結売上高、連結営業利益ともに概ね期初見通しの通りに推移しました。

前期との比較では、連結売上高は若干の増収となり、バイオサイエンス、知的財産システム、デジタルアーカイブ等全てにおいて、連結営業損失は大幅に縮小しました。

【中間期経営成績】

実績数値等の詳細につきましては、本日付発表の当社中間決算短信(連結/単体)をご参照ください。

連結(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
2005年9月期	13,623	-168	-131	-188
2004年9月期	12,870	79	123	-176
対前年同期比	+5.9%	-	-	-

単体(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
2005年9月期	11,757	390	464	393
2004年9月期	12,988	310	392	3
対前年同期比	-9.5%	+25.7%	+18.3%	-

2. 2006年3月期通期業績見通しについて

2006年3月期の中間期業績は期初見通しを下回ったものの、現時点において、2005年7月28日に公表した2006年3月期の通期業績予想(連結・単体)に修正はございません。

【通期業績予想】

通期予想数値等につきましては、本日付発表の当社中間決算短信(連結/単体)をご参照ください。

連結(単位:百万円)	売上高	経常利益	当期純利益
期初発表業績見通	35,300	3,000	1,800
修正業績見通(05/7/28)	35,300	3,000	1,330
2005年3月期実績	29,867	2,265	957

個別(単位:百万円)	売上高	経常利益	当期純利益
期初発表業績見通	31,000	2,900	1,850
修正業績見通(05/7/28)	31,000	2,900	1,800
2005年3月期実績	29,433	2,852	1,359

<本リリースのお問合せ先>

インフォコム株式会社

広報・IR室長 森田 昇

東京都千代田区神田駿河台3-11

Tel: 03-3518-3160

pr@infocom.co.jp

http://www.infocom.co.jp

本リリースに記載された会社名および製品名などは該当する各社の登録商標または出願中の商標です。